

このへ議会だより

Gonohe Assembly News

第19回定例会(令和8年6月定例会)

第18回臨時会・第19回定例会	2	一般質問(3人)	4
議員活動報告	7	議員との意見交換について・編集後記	8

議会広報
令和8年7月
第60号

切谷内小学校



五戸の未来シリーズ⑨

切谷内小学校

町の子どもたちを紹介する五戸の未来シリーズ小学校編第2弾。今回は「切谷内小学校」さんです。今年、創立150周年を迎えた切谷内小学校では、記念事業の第1弾として運動会のフィナーレにバルーンリリースが行われました。五戸町観光協会の皆さんや地元中学生の協力により実現したこの企画。色とりどりのバルーンが青空へと舞い上がる光景は、子どもたちの希望に満ちた未来を象徴するようなひとときとなりました。

©東京ハイジ/五戸町

第18回 令和8年5月 臨時会

5月7日に1日間の会期で臨時会が開催されました。

議決件数 9件			
原案可決	同意	承認	認定
2件	0件	7件	0件

町長提出案件

工事請負契約の締結 1件

①五戸町多目的グラウンド新設工事

・(株)川村土木

3億2780万円



旧五戸高校野球場跡地に整備中の多目的グラウンドの完成イメージ

審議の結果

全員賛成で可決

財産の取得 1件

①直売所用レジ等機器購入

・(株)文屋

1925万円

審議の結果

全員賛成で可決

条例の一部改正 2件

①五戸町町税条例の一部改正

②五戸町国民健康保険税条例の一部改正

【内容】

・各関係法令の一部改正に伴うもの

審議の結果

全員賛成で承認

令和7年度補正予算 5件

①一般会計補正予算(第8号)

・補正額(減額)

△6455万6千円

・予算総額

117億978万4千円

【主な内容】

・物価高騰対応地方創生臨時交付金返還金

△266万5千円

・病院事業会計健診業務負担金

△651万9千円

・五戸中学校改築工事実施設計業務委託料

△2277万8千円

②後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)

・補正額(減額)

△1106万5千円

・予算総額

5億8721万2千円

③国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

・補正額(減額)

△1億1630万9千円

・予算総額

20億1442万7千円

④ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第3号)

・補正額(減額)

△323万5千円

・予算総額

3515万円

⑤病院事業会計補正予算(第4号)

・収益的収入

279万3千円減の

19億9949万3千円

・資本的収入

230万円減の

1億6515万2千円

審議の結果

全員賛成で承認

第19回 令和8年6月 定例会

6月4日から9日までの6日間の会期で定例会が開催されました。

議決件数 28件			
原案可決	同意	承認	認定
12件	16件	0件	0件

報告 2件

①五戸町一般会計継続費繰越計算書について

②五戸町一般会計繰越明許費繰越計算書について

て

報告は採決しません

町長提出案件

指定管理 1件

①農産物直売等拠点施設バ・オールの指定管理者となる団体と期間

○団体の名称

コムラ醸造株式会社

○指定の期間

令和8年7月1日から令和13年3月31日まで

令和13年3月31日まで

審議の結果

全員賛成で可決

条例の制定 1件

①五戸町多目的グラウンド設置条例

【内容】

・五戸町多目的グラウンドを新たに設置し、その管理運営等について

必要な事項を定めるもの

審議の結果

全員賛成で可決

条例の一部改正 6件

①五戸町印鑑条例の一部改正

【内容】

・関係法の改正に伴い、特定在留カード及び特定特別永住者証明書について、所要の改正を行うもの

②五戸町職員の旅費に関する条例の一部改正

【内容】

・職員等の旅費及び費用弁償について、所要の改正を行うもの

③五戸町指定管理者による公の施設の管理に関する条例の一部改正

【内容】

・五戸町多目的グラウンドを公の施設として新たに設置するため改正するもの

④五戸町産業振興促進区域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正

・租税特別措置法の改正に伴い、所要の改正を行うもの

【内容】

・五戸町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

⑤五戸町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

【内容】

・関係法令の施行に伴い、所要の改正を行うもの

⑥五戸町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

・関係法の改正に伴い、所要の改正を行うもの

【内容】

・五戸町土地開発基金条例の廃止 1件

【内容】

・基金で用地を先行取得

審議の結果

全員賛成で可決

条例の廃止 1件

【内容】

・基金で用地を先行取得

する有効性や必要性が薄れていることから、廃止するもの

審議の結果

全員賛成で可決

令和8年度補正予算 3件

①一般会計補正予算(第1号)

・補正額(増額) 1億7117万円

・予算総額(補正後) 114億5623万9千円

②介護保険特別会計補正予算(第1号)

・補正額(増額) 103万1千円

・予算総額(補正後) 24億7428万4千円

③ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第1号)

・補正額(増額) 66万円

・予算総額(補正後) 3744万7千円

審議の結果

全員賛成で可決

審議の結果

全員賛成で可決

町長追加提出案件

教育委員会教育長の任命 1件

①澤田 尚氏(67歳)

八戸市大字田面木字中村

【再任】



主な職歴

八戸市立白銀中学校教頭
新郷村立野沢中学校校長
三八教育事務所次長

八戸市立第一中学校校長
八戸市福祉公民館館長

任期

令和8年7月4日～
令和11年7月3日

審議の結果

全員賛成で同意

審議の結果

全員賛成で同意

審議の結果

全員賛成で同意

農業委員会委員の任命 15件

①岩井壽美雄氏(75歳)

大字倉石中市字中市

②中川原扶貴子氏(70歳)

大字扇田字扇田

③佐々木喜克氏(40歳)

大字切谷内字粒ヶ谷地

④石田 弘文氏(71歳)

大字浅水字浅水

⑤大沢トモ子氏(71歳)

字正場沢

⑥高村 國昭氏(76歳)

大字倉石石沢字高岩

⑦古川 武雄氏(45歳)

大字扇田字野沢

⑧中里 登氏(75歳)

大字上市川字中坪

⑨沼沢こえ子氏(73歳)

大字倉石又重字滝ノ上

⑩佐々木一榮氏(78歳)

大字豊間内字熊戸

⑪高橋 克氏(65歳)

大字豊間内字志戸岸

⑫川崎 良巳氏(71歳)

大字切谷内字切谷内村

⑬竹原 正悦氏(72歳)

大字倉石又重字太田

⑭類家 利光氏(63歳)

大字切谷内字菫蒲川下谷地

⑮山部 憲秀氏(63歳)

字荒町

任期

令和8年7月20日～
令和11年7月19日

審議の結果

全員賛成で同意



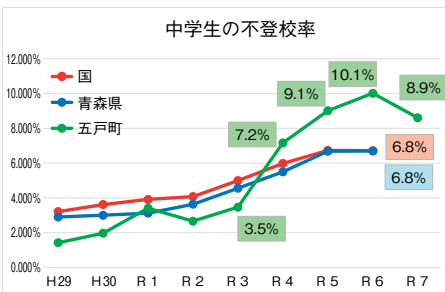
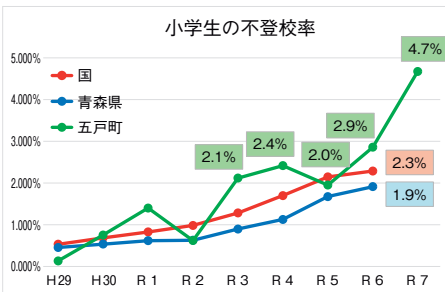
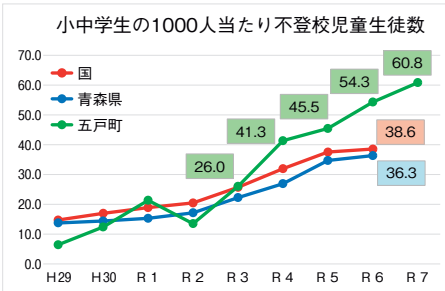
6月定例会では3人の議員が一般質問を行いました。一般質問は、一般行政、教育、選挙、農地行政など町が行う行財政全般について質問できます。



たかおく ひろあき
高奥 浩明 議員

◆令和7年度の小中学生不登校の状況は

教育長 1,000人あたり60.8人
(昨年比6.5人増)



質問②
生活系ごみとは。またごみ排出抑制は。

答 三浦健康増進課長
生活系ごみとは、日常生活を営む中で排出される燃えるごみ、資源ごみ、燃えないごみの全て。

要望
測れないものは改善できない。
ごみ削減に対する住民の意欲を高め、維持するためにも可視化の頻度を上げることを要望する。

今年度は五戸小学校にも開設、5人が利用中。も開設、5人が利用中。

答 櫻井教育課長
要望があれば援助を考えていく。

質問③
不登校児童生徒を抱える家族を支援する団体への援助は。

答 三浦健康増進課長
今年度内に、年1、2回、町ホームページ、ケーブルテレビ、ごみアプリで通知。

質問①
不登校の人数及び、校内支援センターの効果は。

答 澤田教育長
令和7年度の不登校は小学校25人(9人増)、中学校25人(6人減)。五戸中学校校内教育支援センターは延べ10人が利用。通常の教室に復帰できた生徒がいた。また、保護者から安心して学校に送り出せるようになったなどの話を聞いている。

質問②
不登校児童生徒を抱える家族を支援する団体への援助は。

答 三浦健康増進課長
今年度内に、年1、2回、町ホームページ、ケーブルテレビ、ごみアプリで通知。

質問要旨
不登校児童生徒は全国的に増加傾向である。五戸町は全国平均を越えている。昨年中学校に開設した校内教育支援センターの成果はどうか。

不登校児童生徒を抱える家族を支援する団体に援助できないか。

質問③
不登校相談の窓口は。

答 澤田教育長
一義的には学級担任。必要に応じてスクールカウンセラーを紹介している。今後は教育課に配属している教育アドバイザーも窓口になる。

質問要旨
生活系ごみ削減は住民への周知・協力が目標達成のカギとなる。どのように周知し協力を得るのか。また、生活系ごみの削減の方法はどうか。

質問①
ごみ削減の目標及び、周知方法は。

答 若宮町長
生活系燃えるごみ焼却量を1人1日あたり、令和2年度の実績516gに対して、令和12年度478g(約8%削減)、令和17年度435g(約16%削減)。(令和6年度の実績は529g)

質問②
ごみ削減の可視化は。

答 三浦健康増進課長
今年度内に、年1、2回、町ホームページ、ケーブルテレビ、ごみアプリで通知。

質問③
ごみ削減の可視化は。

答 三浦健康増進課長
今年度内に、年1、2回、町ホームページ、ケーブルテレビ、ごみアプリで通知。

一般質問



とよた たかお 豊田 孝夫 議員

◆多目的グラウンドへの駐車場・トイレの整備計画がないようだが

教育長 必要に応じて隣接する学校施設の駐車場とトイレを利用させていただくことを検討

質問要旨

旧五戸高校野球場に整備する多目的グラウンドは、人工芝を敷設した屋外施設でサッカー・フットサルのみならず、地域住民がレクリエーション等に使用できるとのこと。しかしながら、概要図面を見る限りトイレもなく、駐車場も整備されていない。地域住民が使いやすいように設備することが必要と考える。

質問①

事業の概要は。トイレ、駐車場の整備計画はあるか。

答 澤田教育長

旧五戸高校の野球場に人工芝のグラウンドを新設するもの。サッカーコート1面、フットサルコート1面が入る広さとなっている。この事業は、ひばり野西高校開校における支援政策の一環でもあり、高校の利用頻度が高いと想定しているため、トイレ、駐車場の整備計画はない。必要に応じて隣

接する学校施設のトイレ、駐車場を使用させていただくことを考えている。

質問②

事業費の中にJFA（日本サッカー協会）の助成金が入っているが、サッカー・フットサル以外の催事に使用しても差し支えないか。

答 澤田教育長

申請段階において多目的グラウンド整備として申請したことから、住民に供用し、地域活性化に資する利用が可能であると確認している。

質問③

現在の野球場の外周に樹木が植栽されているが、それらも伐採することになるのか。

答 澤田教育長

工事に支障のある樹木及び今後支障となるおそれがある樹木については伐採する。

◆産直施設バ・オールの開業日は

町長 8月6日にオープン

当初予定の8月27日から前倒し

質問要旨

現在整備中の産直施設バ・オールについては、町のスケジュールによると、5月上旬までに建築工事完了、7月下旬までに外構工事完了となり、8月下旬開業予定となっている。今後の予定はどのようなになっているか。

質問①

現在のところ出品予定者は何名になっているか。

答 若宮町長

6月1日時点で109名。当初の想定を上回っている。

質問②

出品予定者の農産物の品目（果樹・野菜・穀物・その他など主な種類）についてはいかがか。

答 若宮町長

現時点で446品目の出品が予定されている。最も多い野菜類では、ナガイモ・ニンニク・ゴボウ・ピーマン・ネギ等。山菜・キノコ類では、みず・きくらげ・こごみ・しどけ・タラの芽。果物では、りんご・さくらんぼ・シャインマスカット・桃。また、コメや豆類、牛肉や馬肉の畜産品など多彩となっている。

質問③

設備に防災機能も持たせるとのことであったが、その場所は。

答 若宮町長

防災拠点としての機能は、正面玄関から見て隣接する芝生広場の左奥、防災備蓄倉庫に集約する。

質問④

当初、医療施設も開設する見込みとのことであったが、その後の状況は。

答 若宮町長

医療施設は諸般の事情により開設が困難となった。今後、公募型プロポーザル方式により、運営事業者を募集する。

質問⑤

開業時期について、出品予定者はお盆前にしてもらいたいとの強い意向があるが、早めることは可能か。

答 若宮町長

当初予定の8月27日から変更して、8月6日午前9時にオープンし、お盆の需要を取り込む。

質問要旨

かねてより計画されている町内小学校の統合及び中学校の統合が目前に迫っている。

特に切谷内小学校は今年が150周年記念の年であり、同時に統合前の最後の1年となる。保護者や先生方、地域の方々が一体となり、子どもたちのために様々な企画を考えている。

こういう方々の熱量を統合後も維持してもらうことが重要である。



かわさき しちひろ
川崎 七洋 議員

◆地域の活力になるような学校統合を

町長 地域の方々の協力を得ながら進めていく

質問①

町内の小学校の統合及び中学校の統合について、統合時期や統合後の決定事項などについて、改めてご説明いただきたい。

答 澤田教育長

小学校は令和9年度に切谷内小学校と上市川小学校を統合した「川内小学校」として新たにスタートする。中学校は五戸中学校、川内中学校、倉石中学校の3校を統合し、令和11年度から新生の「五戸中学校」として開校する。

川内小学校の校舎は現在の上市川小学校を使用し、指定運動着は廃止するが、校章・校旗・校歌については新しいものにする。

新生の五戸中学校は、現在の五戸中学校の場所で校舎を建替えて開校する。校章・校旗・校歌は現在の五戸中学校のものを使用する。

質問②

新生の五戸中学校は、学校名、校歌、校章などが現状のまま残るが、あくまでも新設の中学校という立ち位置であると聞いている。どういった経緯でそのように決まったのか。

答 櫻井教育課長

町内中学校の統合にあたり、地域住民で構成する統合準備委員会を組織し、その中で様々な検討をしてもらい決定した。

質問③

統合準備委員会の中では、1年でも早い統合が子どもたちの最大の利益であるとして、校章及び校旗については現状のままとする案で進んだ。しかし、校歌については統合3校の足並みをそろえるために、新しくしようという意見が大半であった。その中で「校歌が変わってしまうと、五戸中学校を卒業した多くの大人たちの、五戸町への帰属意識を薄くしてしまうのではないか」という意見が出たことで、一転して現状のままとする方針に決まった。

これは五戸の中心地に多く住んでいる五戸中学校を卒業した大人の方々に、五戸町全域のために

努力して欲しいというメッセージであると私は受け取った。

このように学校の存在は、町を発展させる活力の土台なのだと考えている。そのため、今回の学校統合は町をよりよい未来に導くものとして期待するが、町長のお考えをお願いしたい。

答 若宮町長

五戸町は過去にも統合の歴史があり、今の五戸中学校もいろいろな地域の人が集まっている。現代では多様な環境の子どもが増えているという事も含めて、新生の五戸中学校になってどのような教育メニューを置けるか、大事なのだと思う。

校歌については、五戸小学校の統合の時「五戸」とついた学校の校歌を守ろうということで校歌が残ったと記憶している。中学校の校歌もそういった面もあったのかと思うが、これから歌い継いで

いく卒業生が増えていくわけであるため、地域の方々の協力を得ながら、各地域の方々が納得できるような学校活動をしていく必要があると感じている。

質問④

川内小学校について、町民の方からは「どうせ五戸小学校に統合するのでしょう?」という率直な意見をいただくことが多い。そのような構想はあるか。

答 澤田教育長

現段階では、町内の小学校は3校を維持するという方針があるので、統合計画にのっとって進めていく。

しかし、子どもの人数が減っていることは事実なので、その時代に合わせて協議し、判断していくことになる。

五戸地区議会議員研修会

令和8年4月24日、新郷村(美郷館)にて五戸町議会議員と新郷村議会議員で構成されている五戸地区議会議員の研修会が開催され、各町村で活躍する地域おこし協力隊の方々からお話を伺いました。

講演 「地域おこし協力隊活動について」

講師 五戸町地域おこし協力隊 川村 奈央 氏 新郷村地域おこし協力隊 清水 香帆 氏
工藤 祐一 氏



新ひばり野配水塔・配水池築造工事現場視察

令和8年5月19日、現在建設中の新ひばり野配水塔と配水池の工事現場の視察を行い、八戸圏域水道企業団の方から工事の概要について説明を受けました。既存施設が老朽化しているため、耐震化と貯水量の増加を目的として、令和6年3月から新設工事をスタートしています。

新たな配水塔と配水池は来年6月に完成予定で、主に五戸中心街周辺地域と豊間内・扇田地区へ水を供給することになります。



町村議会広報研修会

令和8年5月20日、青森市で開催された議会広報の作成に関する研修会に広報常任委員会から3人の委員が出席し、写真やフォントの選択など、住民が読んでくれる広報について学びました。

講演 (1)議会の見える化&住民との関係性 –議会広報の基本と編集–
(2)町村議会広報クリニック

講師 議会広報サポーター 芳野 政明 氏



全国町村議会議長・副議長研修会



令和8年5月26日、東京都(東京国際フォーラム)にて開催された全国町村議会議長・副議長研修会に、五戸町議会から川村浩昭議長と松山泰治副議長の2名が出席しました。

研修会では地方創生の現在地点と地域未来戦略、人口減少社会における外国人材の確保・育成の実践、男女共同参画による地域の活性化などについての講演が行われ、社会情勢の変移に合わせた地方議会の在り方について学びました。



議員と意見交換を しませんか？

五戸町議会では、町内で活動をしている団体やグループ(おおよそ3名以上)から、まちづくりの課題などについてご意見・ご要望を伺う場への議員の参加を受け付けています。テーマは五戸町に関するものであれば自由です。(生活、医療、教育、産業、などなど)

希望される団体又はグループは五戸町議会事務局へご連絡ください。

※テーマや開催方法等の詳細につきましては、お申込みの際に代表の方とご相談させていただきます。

問合せ・お申込み

五戸町議会事務局

電話：0178-62-2111(代表)

メール：gikai@town.gonohe.aomori.jp

編集後記

今年度は、本町にとって大きな節目の年となっています。8月6日には産直施設「バ・オール」が開業し、地域活性化への期待が高まっています。

一方で、川内地区小学校の閉校や、五戸総合病院の町立としての運営にも一区切りがつけられることとなりました。しかし、医療機関そのものは地域に残していく方向で検討が進められており、今後の展開が注目されます。長年にわたり地域を支えてきた施設の在り方が大きく変わることに、さまざまな思いを抱く方も多いのではないのでしょうか。

変わるものと守るべきもの。その両方を見据えながら、議会としても町民の皆さまの声に耳を傾け、地域の発展と暮らしの安心のために取り組んでまいります。

副委員長 佐々木 喜克

議会を傍聴してみませんか

9月定例会は9月上旬開会予定です。日程が決まりしだい「五戸ちゃんねる」、五戸町ホームページでもお知らせします。(お知らせは8月下旬頃の見込みです)



詳しくは議会事務局へ〔TEL 62-2111(代表)〕

広報常任委員会

委員長	高 奥 浩 明
副委員長	佐々木 喜 克
委員	柏 田 匡 智
委員	川 崎 七 洋
委員	鈴木 隆 也
委員	豊 田 孝 夫
発行責任者	議長 川 村 浩 昭
令和8年7月24日発行	